

2024年度(令和6年度) ケーブルテレビ館林放送番組審議会 議事録

1. 開催日時 2025年1月27日(月) 13:30~14:30
2. 開催場所 ケーブルテレビ館林(館林市美園町13-2)
3. 委員の出席 審議委員総数 16名
出席委員数 16名(随員2名)

■出席者(敬称略)

多田善洋	会長	(館林市長)
高橋純一	委員	(千代田町長)
小沼勇人	代理出席	(邑楽町企画課長)
岡島宏之	代理出席	(板倉町総務課情報広報係長)
関口百合子	代理出席	(明和町総務課メディア戦略係長)
鹿沼義一	代理出席	(館林商工会議所専務理事)
小池敏郎	委員	(板倉町商工会会長)
石倉利昭	委員	(明和町商工会会長)
高野広	委員	(千代田町商工会会長)
長山清	委員	(邑楽町商工会会長)
横村恭彦	代理出席	(館林地区消防組合消防本部次長兼館林消防署長)
阿部隆	委員	(館林市区長協議会理事)
根岸尚之	委員	(板倉町行政区長会会長)
栗原昇	委員	(館林市教育委員会教育長職務代理者)
矢嶋廣紀	委員	(板倉町教育委員会教育長職務代理者)
山本樹	委員	(まちづくりを考える研究グループ代表幹事)

■ケーブルテレビ株式会社 出席7名

高田光浩	(代表取締役社長)
中沢利樹男	(常務取締役)
鈴木弘樹	(館林センター局長)
今泉勉	(コンテンツ部 地域プロモーション課 課長)
松本幸美	(コンテンツ部 地域プロモーション課 係長)
山崎友里江	(コンテンツ部 地域プロモーション課 主任)
吉羽真由美	(コンテンツ部 地域プロモーション課 主任)

4. 報告事項

【全体】

- (1) 新委員の委嘱に関する報告
- (2) 放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3) ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告
- (4) 前回の審議会での指摘・進捗報告

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) 2024 年度の取り組み
- (2) チャンネル構成
- (3) 主なレギュラー番組
- (4) 主な特別番組

■コミュニティチャンネルに関する報告についてのご質問・ご意見

【委員】「おくやみ情報」に関して、エリア内すべての情報を放送しているのか。

【CATV】エリア内の葬儀会社に協力いただき、遺族の許可をいただいた情報のみ掲載している。

地元新聞社に共同で情報をいただけないか申し出をしているが許可が下りない。

栃木、茨城は新聞社から協力を得られているので、群馬も引き続き丁寧な説明をして協力を仰ぎながら、新聞社等と連携し、より多くの情報をお届けできるよう努めていく。

【委員】板倉町の学校の卒業式と入学式の放送がなかったが、放送は順番なのか。

【CATV】小中学校の卒業式・入学式に関しては、エリア内の全ての学校に撮影・放送の希望を伺

い、希望のあった学校に関しては全て撮影し放送している。

【委員】今年度、運動会にケーブルテレビが来ていなかった。学校に声掛けはしたのか。

【CATV】ご指摘の通り今年度、運動会特集は放送していない。地域の皆さまからの期待が大きい

ことは承知しているので来年度以降、スタッフの体制を整えていきたい。

【委員】小学校の卒業式が多くても希望すれば対応可能なのか。

【CATV】希望をいただいた学校に関しては全て伺い希望に沿うように対応する。

5. 議事

■ご視聴番組に対してのご意見・ご質問

【委員】事前視聴用の映像はどのような意図があるのか。どのような意見が聞きたいのか。

【CATV】今回視聴いただいた映像は各エリアの特徴のある話題や、新しく始まった番組、特別番組を選んだ。多くの番組をご覧いただいて意見をいただきたいが、以前、映像が長いとのご意見があったので短くまとめさせていただいた。長さや内容などご意見をいただければ次回にいかしていきたい。

【委員】一つ一つじっくり作ってあって観ていて飽きなかったが、いかに視聴者をあつめて加入させるかが大事だと思う。若者のテレビ離れが進む中、どうしたら良いのか考えると、もう少しクスッとできるポイントがあるといいのではないか。チューモク☆部活DO!の撮影は何時間かかるのか。

【CATV】撮影時間は2〜3時間程。それを15分にまとめている。

【委員】たとえばNGシーンがあればそれを番組に入れてみたりするなど、バラエティ要素を増やしてみてもどうか。

【CATV】観てもらう人がいなければ頑張っても意味がない。いかに多くの住民を出すか。お子さんを観たい、お孫さんを観たいという方が多く加入に繋がる。今後どういう番組が加入に繋がるかを考えながら強化していきたい。そういった面では、運動会の取材をしなかったのは反省すべきことで原点にかえって徹底していく。

【委員】こういう人材がいた、場所があったなど、一般の人に知られていないような題材を発掘してケーブルテレビで発信して欲しい。「館林紬 2.0」のような企画を今後もしてほしい。館林紬のような一丸となれるようなもの発掘してほしい。

【委員】「館林紬 2.0」は観応えがあった。一方で小学校の取り上げが少ない。小学校にも取材対象を広げて欲しい。

【委員】ケーブルテレビとして視聴率を上げるための番組作りだけにとらわれることなく、地域の文化、伝統などバランスのとれた放送を考えてもらいたい。視聴率を上げるために面白く構成するのも大事だが、若い人だけでなく活躍しているお年寄りも多くいるのでバランスよく放送を。

【CATV】この地域の魅力再発見を考えていかななくてはならない。住民でも知らないこともある。地域の一体感をつくっていくことも大事なので、ケーブルテレビで発信することで地域を繋げていきたい。そのための重要な役割だと思っている。視聴率の上には地域活性化、魅力再発見がベースにある。視聴者を増やすために番組作りをするのではなく、良い番組をつくれれば視聴者も増える。そのためにはバランスのとれた番組が大事。バランスに注意しながら取り組んでいきたい。

■日ごろからご覧になっている番組や編成方針、またケーブルテレビに対するご意見・ご要望

【委員】商工会の情報発信も番組のどこかに入れたらどうか。青年部の活動は紹介されている。

【委員】いつも気を付けて観ているが、地域を細かく取り上げていただいている。特に部活動の番組がよかった。ほのぼのした。赤岩のお城は館林の城、大佐貫とからみがある。お年寄りが観るのではないか。歴史の繋がりや水運など取材して欲しい。

【CATV】私どもも行政の情報は紹介しているが商工会議所、商工会についても連絡を密にとりながら情報をお届けできるようにしたい。いろいろな団体の活動にアンテナをはってできる限り取材させていただく。それが地域活性化につながる。情報収集、発信に力を入れていきたい。

【委員】商工会議所としては自治体のように定期的に提供できるような情報はないが「こういうことがありました」はある。商工会の番組ではなく、周知したいことがあった時には行政番組の中で流してもらえれば。若者が見るだけでなく体験できるような、そういう話題を発掘してほしい。

【委員】いろいろな行事においてより多くの人に参加していただくことが活性化になる。人が循環するような社会にしていく。それもケーブルテレビの役割。今月はこんなものが予定されているなど、人が多く集まって欲しいイベント紹介も可能。工夫して事前の発信にも力をいれていきたい。

【委員】板倉町でも親会としては笑交祭（しょうこうさい）を毎年取材してもらって有難い。女性部もいろいろやっているので取材してもらえれば。板倉高校の生徒が企業で職場体験をしているので取材してはどうか。

【委員】取材をよくしていると感じられた。「館林紬 2.0」に関しては愛情や制作者の思いが感じられた。いろいろな人たちの思いが詰まった番組。5日間の放送だったがもっと多くの人に観てもらいたい。可能であればインターネット等で観られればなお良い。

町としては近隣から人を持ってきてもしようがないので首都圏に PR していきたい。
いいコンテンツがあれば観てもらって移住希望者を増やしたい。地域の良いコンテンツを集めて PR できる CM などを作ってもらいたい。ケーブルテレビの力を存分に発揮してもらい活用したい。動画を制作して自治体に売るなど提案をしてもらいたい。

【CATV】 今後検討しご提案に伺わせていただきたい。ケーブルテレビの持つ様々なプラットフォームを活用して地域の魅力を全国に発信していきたい。

【委員】 チャンネルガイドを見る人はあまりいないのではないか。将来的にはなくしても良いのではないか。

【CATV】 チャンネルガイドは見えていない方が非常に多い。自然環境にもよくないので廃止に向けた活動を SDGs の一環として実施している。一方で必要な方も一定数いる。毎月100世帯位ずつ減っている状況だが、拍車をかけて停止して、その分番組作りにお金をかけていきたい。短期間のうちに部数を減らすため努力を進めていく。

以上